

3. みんなで協働 ～市民が学んだことを活かせるまちづくり～

主要施策

事業の展開



1. 生涯学習推進のための人材育成

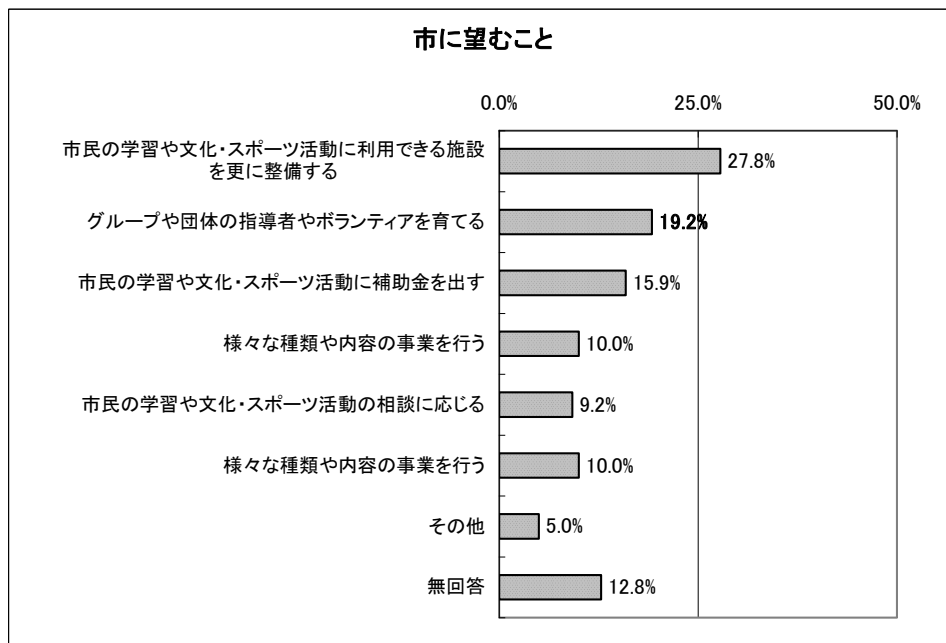
(1) 現状と課題

生涯学習は市民の自主的な活動によるものですが、その推進にあたっては、専門的内容を指導したり、活動を支援する人材が必要となります。

生涯学習活動を充実させるために「市に望むこと」として、「グループや団体の指導者やボランティアを育てる」が19.2%となっており、市民にとっても学習を進める上で、ボランティアや指導者などの人材の育成を必要としていることがうかがえます。

本市では、平成16年に市民のコミュニティ活動、地域活動等の支援を目的に「まなび&ボランティアサイト」を開設し、ボランティアの募集、サークル登録、イベントやまなびの機会などの生涯学習情報を利用できる体制を整備しました。

今後は、市民が必要としている人材やボランティアを幅広く確保していくために、「まなび&ボランティアサイト」への登録をさらに促進し、市民がさまざまな学習活動を通じて得た知識や経験を活かすことができる機会の創出に努めます。



※資料は、成田市民の生涯学習・生涯スポーツに関する意識調査報告書より

(2) 事業の展開

① ボランティア人材の育成

市民が学んだことを地域社会・コミュニティに還元し、ソフト面での「まちづくり」に寄与できる人的資源を育成します。また、青少年の健全育成を担う地域の人材の活用とさまざまな分野におけるボランティアの育成に努め、その活動を支援します。

生涯学習人材活用事業、青少年相談員事業など



オールナイトハイク

② リーダー人材の育成

市民が地域活動を行う際に、指導者あるいはアドバイザーとして活躍できる人材育成に努めます。また、青少年活動においても、青少年の健全な諸活動を促進するため、リーダーを養成します。

ITリーダー育成事業、リーダー養成講座など

2. 市民交流の推進

(1) 現状と課題

本市は、国際空港を擁し、街なかで多くの外国人にふれあう機会が増えており、市民レベルでの国際交流がますます進んでいくものと考えられます。こうしたことから、国際交流の推進を図るために、友好・姉妹都市との交流や青少年国際交流等を行っています。

一方、都市化の進行や、核家族化、少子高齢化等により、市民相互のコミュニケーション不足から生じる地域連携の希薄さが浮かび上がりつつあります。

地域活動においては、コミュニティ活動への支援や、さまざまな情報の提供等を通じて市民参加のコミュニティ意識の醸成を図っています。今後、生涯学習活動を推進していくためには、市民みんなが交流し、支えあうことによって学習の輪を拡大していくことが求められています。

地域の抱えるさまざまな問題をみんなで考え、行動し、解決していくためにも、市民交流を推進していくことが、市民の積極的な社会参加を促すことになり、ゆたかなまちづくりへとつながっていくものと考えます。



国際市民フェスティバル

(2) 事業の展開

① 市民が主体の国際交流の推進

成田国際空港があり、外国人とふれあう機会が多い本市の特徴を活かして、友好・姉妹都市との交流や青少年国際交流の推進を図ります。

また、家庭や地域行事に外国人を招き、暮らしや習慣に親しむなど日常的な国際交流も進めることで、国際性豊かな市民を育みます。

国際市民フェスティバル開催事業、国際こども絵画交流展開催事業など



国際市民フェスティバル



国際こども絵画交流展

② 地域の市民交流活動の推進

市民の学習意欲を高め、交流活動の活性化を図るために、区、自治会、町内会等が行う行事への市民の参加や協力を促しながら、地域間交流の積極的な推進を図ります。

社会福祉協議会支援事業、市民憲章推進事業など



3. 協働推進体制の確立

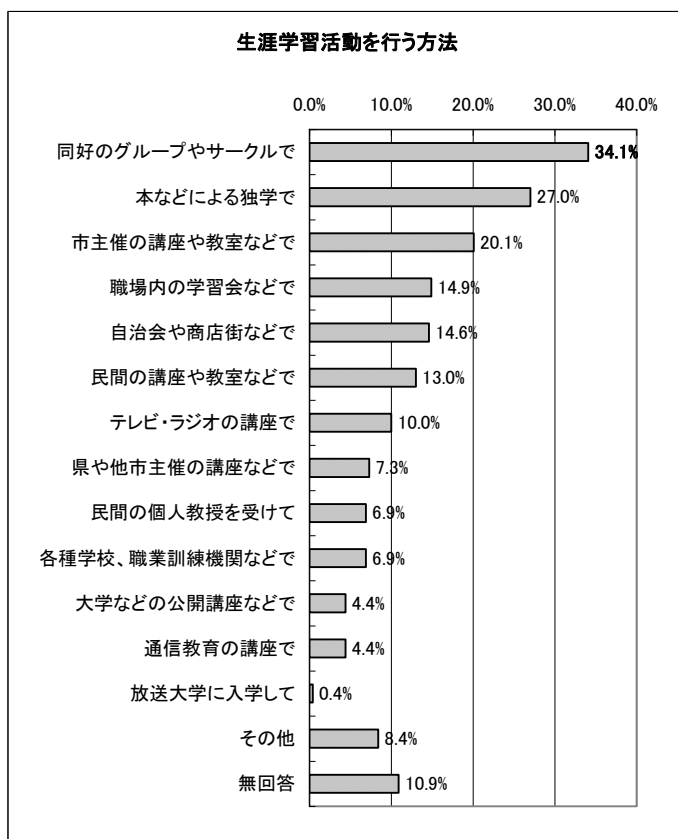
(1) 現状と課題

生涯学習は、その分野が多岐にわたるため、行政内部の連絡調整・協力はもとより、生涯学習の主体者である市民の声を施策に反映していくことができる推進体制の整備が必要となってきます。また、さまざまな団体・グループがそれぞれの役割を自覚しながら行政とともに生涯学習を推進していくことが必要となっています。

「生涯学習活動を行う方法」として「同好のグループやサークルで」が34.1%と最も多く、団体・グループへの支援の必要性がうかがえます。

団体・グループ活動については、従来からの助成、施設の提供等による支援に加え、生涯学習事業の企画・運営を委託するなど、自主的な団体運営を促しながら、育成を図ります。

今後は、学習の輪を広げるため、団体・グループ間の交流の促進を図るとともに、市民と行政との連携を深めた協働推進体制を強化していくことが重要となります。



※資料は、成田市民の生涯学習・生涯スポーツに関する意識調査報告書より

(2) 事業の展開

① 団体・グループの育成、活動支援

生涯学習の推進に関係する団体・グループの活動や各種事業に対して支援を行い、自立的活動の促進や組織の強化へつなげ、学習活動の輪を広げていきます。

子ども会連絡会、青少年輪を育てる会、文化団体連絡協議会など



子ども会（オリエンテーリング）

② 市民・行政の協働推進体制の構築

生涯学習の主体は市民であり、その意見や要望を広く集め、施策に反映させていくことで、効果的な生涯学習の実現が可能となります。市民と行政が積極的に意見交換を行い連携を図り、協働推進体制を構築していきます。

生涯学習推進協議会の運営、社会教育委員会議など

成田市生涯学習推進体制図

